

# 東京国立 博物館 ニュース



## 特別展 Information

「特別展 顔真卿 王羲之を超えた名筆」

「特別展 国宝 東寺—空海と仏像曼荼羅」…… 2

「博物館に初もうで」…… 4~5

「特集 王羲之書法の残影—唐時代への道程—」

「特集 大判と小判」…… 6

## 総合文化展 Pick up!

(本館/東洋館/黒田記念館/平成館/法隆寺宝物館) …… 7~11

保存と修理情報⑤⑥ …… 9

みどりのライオン(教育普及事業) …… 12~13 / トーハクくんのなるほートーハク …… 13

イベント&インフォメーション …… 14~15 /

2018年12月-2019年1月の展示・催し物 …… 16

今号の  
名品

「国宝  
古今和歌集(元永本)下帖」

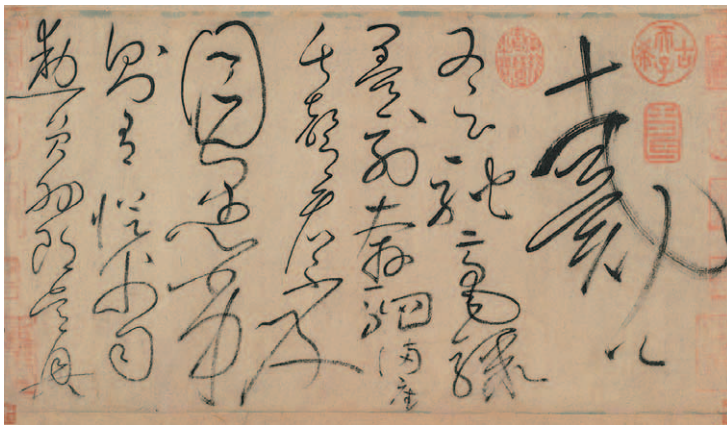
3ページに  
掲載してるほ!

TNM



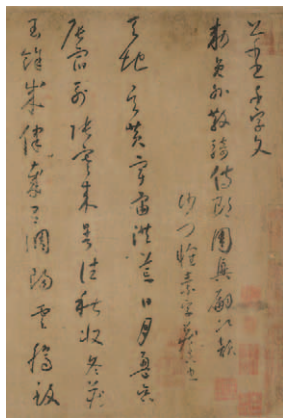


# 特別展 Information



**自叙帖**  
懷素筆 唐時代・大暦12年(777)  
台北 國立故宮博物院藏  
懷素は酒を飲んで自己を開放し、  
狂おしいまでの草書で胸中の想いを  
吐露しました

(部分)



**小草千字文(千金帖)**  
懷素筆 唐時代・貞元15年(799)頃  
台北 國立故宮博物院寄託  
一字一金と評され、「千金帖」とも呼ばれています

(部分)

## 特別展 「顔真卿 王羲之を超えた名筆」 顔真卿も絶賛した 変幻自在の書に注目!

2019年  
1月16日(※)  
▼  
2月24日(日)  
平成館  
特別展示室

唐の第2代太宗皇帝は、王羲之の書をこよなく愛しました。初唐の虞世南や欧陽詢らは、王羲之らの伝統的な書法に立脚しつつ、見事な楷書の表現を確立します。ところが第6代玄宗皇帝は、気宇の大きな書を好み、その影響は、従来の書風を一変させました。この時期の書風の変化を端的に示す一例は、筆が縦横自在に紙面を舞う、懷素の壮年の代表作、自叙帖でしょう。

8世紀の後半に活躍した懷素は、幼い頃に出家して、読経のあいまに書を学びました。貧しくて紙が買えなかった幼少の頃には、芭蕉の葉や漆を塗った板の上で、書の練習をしました。長じては酒を好み、酔うと狂ったように書きなぐる草書が好評を博し、多くの名士がその書を称える文章を彼に贈りました。懷素はその序文を顔真卿に依頼し、それらを改めて揮毫した作が自叙帖です。あたかも交響曲のように千変万化する懷素の自叙帖は、後世にさわめて大きな影響を与えました。一方、小草千字文(千金帖)は、自叙帖とは打って変わり、最晩年にたどり着きたいぶし銀のように枯淡な表現です。顔真卿の名筆とあわせて懷素の動と静の世界をお楽しみください。(富田淳)

観覧料:一般1,600円(1,400円/1,300円)、大学生1,200円(1,000円/900円)、高校生900円(700円/600円) \* ( )内は前売/20名以上の団体料金。中学生以下無料 \*障がい者とその介護者1名は無料(入館の際に障がい者手帳などをご提示ください) \*前売券は10月17日(水)~2019年1月15日(火)、当館正門チケット売場(窓口、開館日のみ。閉館の30分前まで)、展覧会公式サイト、主要プレイガイドほかにて販売/お問合せ:03-5777-8600(ハローダイヤル)/展覧会公式サイト <https://ganshinkei.jp/>

### 関連イベント

記念講演会「顔真卿 王羲之を超えた名筆」  
日時:2019年2月9日(土) 13:30~15:00 講師:富田淳(学芸企画部長)  
会場:平成館大講堂 定員:380名(事前申込制、応募者多数の場合は抽選)  
聴講料:無料(ただし本展覧会の観覧券が必要。使用済の半券でも可。その場合、別途当日の入館料が必要。)  
申込方法:往復はがきの「往信用表面」に、(1)参加者全員(2名まで)の氏名・ふりがな、(2)代表者の郵便番号・住所、(3)代表者の電話番号を、「返信用表面」に代表者の郵便番号・住所・氏名を明記のうえ、下記までお申し込みください。申込先:〒107-0052 東京都港区赤坂9-1-7 赤坂レジデンシャル770 ミュース・ピアール内「顔真卿展」イベント(記念講演会)係  
申込締切:12月11日(火) 必着 ※詳細は公式サイト参照。 <https://ganshinkei.jp/>

### 関連企画

#### 古典を受け継ぐ現代の書—世代をつなぐ筆墨の美

2019年1月16日(水)~2月24日(日) 平成館企画展示室

「顔真卿展」関連企画として、現代の書家による古典に根ざした書を展示します。唐時代に普遍的な美しさを獲得して確立した書の表現は、その後も日本や中国において古典として学ばれ続けています。古典が枢軸となって世代をつなぐ筆墨の美の競演、ご期待ください。  
※総合文化展料金で観覧可能です。



### 東寺 仏像曼荼羅 イメージ図

国宝の11体は360度から見られます。  
庄巻の仏像曼荼羅を体感してください

## 特別展 「国宝 東寺—空海と仏像曼荼羅」 東寺の立体曼荼羅から、 15体が集結!

2019年  
3月26日(※)  
▼  
6月2日(日)  
平成館  
特別展示室

東寺(教王護国寺)は、794年の平安京遷都に伴って創建されました。中国で密教を修めた空海は、823年に朝廷から東寺を授かると、それを真言密教の根本道場とします。

密教の教えは奥深く、言葉では言い表せないのが、造形物が必要であると空海は説きます。密教美術に優れた作品が多いのはそのためです。東寺講堂の21体の仏像を構想しましたが、それらは空海思想を表しているといわれ、堂内に足を踏み入れると、密教の妖しく森厳な空気に包まれます。

本展では、東寺に伝わる空海ゆかりの作品や優れた密教美術を紹介します。講堂からは15体の仏像が出品され、空海思想に触れることができるはず。(丸山士郎)

観覧料:一般1,600円(1,400円/1,300円)、大学生1,200円(1,000円/900円)、高校生900円(700円/600円) \* ( )内は前売/20名以上の団体料金。中学生以下無料 \*障がい者とその介護者1名は無料(入館の際に障がい者手帳などをご提示ください) \*前売券は2019年1月15日(火)~3月25日(月)、当館正門チケット売場(窓口、開館日のみ。閉館の30分前まで)、展覧会公式サイト、主要プレイガイドほかにて販売/お問合せ:03-5777-8600(ハローダイヤル)/展覧会公式サイト <https://toj2019.jp/>



今号の名品

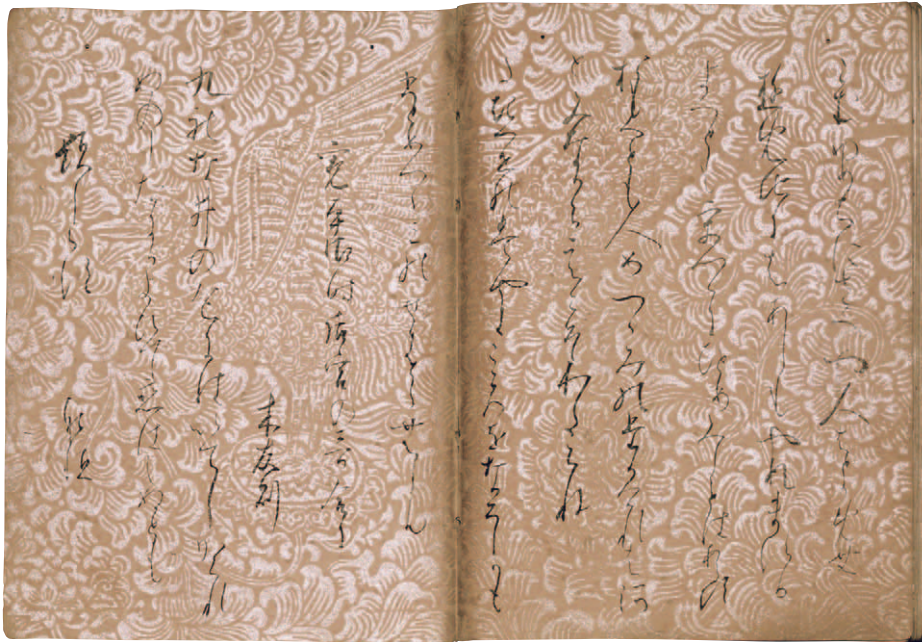
2018年12月-2019年1月号

国宝 古今和歌集(元永本)下帖

2019年1月2日(水)~1月14日(月・祝)

本館3室

美しく、貴重な料紙と名筆が織りなす奇跡



●古今和歌集(元永本)下帖 平安時代・12世紀 三井高氏寄贈

「元永本」は、「古今和歌集」仮名序と20巻全てを収めた原装丁のままの完本として現存最古の遺品です。上帖の奥書に「元永三年七月廿四日」とあるため、「元永本」と呼ばれます。綴葉装の冊子本で、日本製の貴重な唐紙を、上帖は191枚、下帖は196枚も使っています。唐紙の表には、孔雀唐草文や菱唐草文などの文様15種が雲母刷りされており、

裏面には染色された上に金銀箔が散らされています。これほど豪華な冊子本が、完備して残されているのは奇跡とも言えるでしょう。どのようになつてきたのかは、附属する7通の添状からわかります。「元永本」は、江戸時代に尾張徳川家から、女中の岡野という人物に渡り、その後、古筆鑑定家の笠原祥雨が加賀前田家に売却、前



「於もへとも人」 部分拡大

田家六代藩主・吉徳の代に家臣の茨木兵庫に下賜されました。そして、明治20年(1887)頃、三井高保(1850~1922)が購入し、昭和45年(1970)、高保の孫にあたる高木が亡くなった際、夫人が亡夫の遺志として「元永本」を当館に寄贈しました。筆者と推定される藤原定実(1077~1119)は、平安時代に能書として代々活躍した家系・世尊寺家の第4代当主です。定実は、流麗な連綿を駆使しながら、濃い色の料紙は肉厚な墨付にするなど、その装飾に合わせた筆運びをしました。能書は料紙を余らせてはいけなるとされます(藤原伊経「才葉抄」)が、

定実も、後半の頁には大胆な散らし書きを混ぜて、全体として料紙が余らないような工夫をしています。今回の展示で紹介する頁は、「古今和歌集」巻13(恋三)の部分です。1行目の「や人」をみると、墨がすすりながら、荒々しく筆を運んでいるように感じます。しかし、「於(お)もへとも人」(拡大図版)は、勢いよく、「於」から「も」につなげ、「も」の横画から「へとも人」まで一気に、美しい連綿を紡ぎだしています。定実は、さまざまな筆致を使い分けて、全巻の中であきのこないように変化に飛んだ筆遣いをしたのです。(恵美千鶴子)

『東京国立博物館 ニュース』名品スタンプ

★設置場所…本館インフォメーション  
★設置期間…12月1日(土)~  
2019年1月31日(木)

\*記念品付きの「名品スタンプラリー」は終了しました。

来館の記念にどうぞ!



ユリノキちゃん  
東京国立博物館 公式キャラクター

トーハクくん 東京国立博物館 公式キャラクター



お正月は、トーハクで日本の伝統に親しまおう！

# 博物館に初もうで

トーハクのお正月の定番、国宝「松林図屏風」が、2年ぶりに本館で展示されます。その他にも年のはじめを寿ぐ名品と、新年の干支「亥」をテーマにした特集をお楽しみいただけます。和太鼓や獅子舞などの伝統芸能も開催。新しい年を、トーハクでスタートしませんか？

様々な姿のイノシシ、どれがお好み？

特集

## 「博物館に初もうで」イノシシ 勢いのある年に



2019年  
1月2日(水)～  
1月27日(日)

本館特別1室・  
特別2室

イノシシは、日本全国に生息しており、狩猟の対象となる身近な動物でした。食用として人の生に密着していることや多産であることなどから、豊穰を象徴する存在でもありました。一方、中国ではイノシシという

とブタに相当しますが、ブタはイノシシを家畜化したものです。また「猪突猛進」という言葉があるように、前に突き進む猛烈な勢いが信奉される場合もありました。

猛進を連想するものだけではなく、つぶらな瞳がかわいい「野猪」や、足が長い「埴輪猪」なども展示します。古来より「イノシシ」を身近に感じてください。きた人々のまなざしをぜひ感じてく



いのしし 猪図

岸連山筆 江戸時代・19世紀 ハーディ・ウィルソン氏寄贈  
全速力で駆ける猪を画面いっぱいに描いた本作は、まさに猪突猛進の勢いを感じさせる作品



はにわいのしし 埴輪猪

古墳時代・6世紀  
群馬県伊勢崎市大字境  
上武士字天神山出土  
埴輪 馬の形にデフォルメされた、猪の埴輪です



やちよ 野猪

石川光明作 大正元年(1912) 石川光明氏寄贈  
前足を投げ出してすわる、愛らしいイノシシの姿が活写されています

## 新春 イベント

### ■2019年1月2日(水)

11:00/13:30 和太鼓 湯島天神白梅太鼓 本館前  
12:40/15:10 獅子舞 葛西離子中村社中 本館前

### ■2019年1月3日(木)

11:00/13:30 和太鼓 湯島天神白梅太鼓 本館前  
11:50/14:20 クラリネット・コンサート ジュリアンズ  
平成館ラウンジ  
12:40/15:10 獅子舞 葛西離子中村社中 本館前  
※雨天時は場所を変更、または中止になることがあります。

### ■いけばな

2019年1月2日(水)～14日(月・祝)  
正門、本館玄関、本館大階段  
池坊・葺重伸氏

### ■TNM&TOPPAN ミュージアムシアター よりプレゼント

2019年1月2日(水)・3日(木)  
VR作品を鑑賞された方にシアター無料鑑賞券2枚とオリジナルグッズをプレゼント。  
※鑑賞には別途料金および当日の予約が必要です。  
※コンテンツ等の詳細はウェブサイト(<http://www.toppan-vr.jp/mt/>)をご覧ください。

### ■ミュージアムショップからお年玉

2019年1月2日(水)・3日(木)  
当館の全ミュージアムショップで合計2,000円以上お買い上げのお客様、先着600名様にミュージアムグッズをプレゼント(引き渡しは本館ミュージアムショップでのみ対応)

2019年1月2日(水)・3日(木)  
美術図書バーゲンセール(本館ミュージアムショップのみ対象)

### ■ホテルオークラレストラン ゆりの木からプレゼント

2019年1月2日(水)・3日(木)  
ゆりの木ご利用のお客様先着200名様に伊予の水引の箸置きをプレゼント

### ■寛永寺根本中堂特別参拝

2019年1月2日(水)・3日(木) 10:00～15:00  
根本中堂、徳川歴代将軍の肖像画、四天王像などを公開します。当館観覧券の半券(当日分)をご提示ください。散華をお配りします。



正月限定! カレンダー付き  
ワークシート

新年1月2日・3日の2日間、ご来館の先着3000名(各日)の皆様にワークシートをお配りします。特集「博物館に初もうで イノシシ 勢いのある年に」を楽しむためのワークシートの裏に、2019年カレンダーがついています。ワークシートの配布は11:00から16:00、本館2階便殿前で行います。  
※時間内でもなくなり次第終了とさせていただきます。



2019年もどうぞよろしく  
お願いします。

あけまして  
おめでとう!



お正月は、とっておきの名品が見たい！

# 新春名品紹介



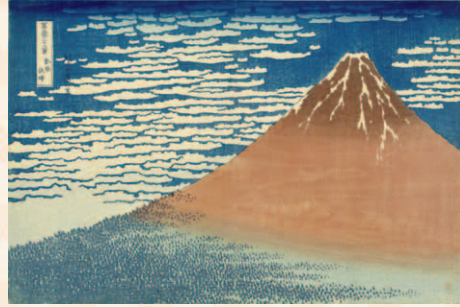
唐織 緑紅茶段青海波  
花熨斗扇夕顔模様  
上杉家伝来 江戸時代・18世紀  
本館9室  
2019年1月2日(水)～2月24日(日)  
『源氏物語』「夕顔」の巻を表した  
優雅な女性役の装束



片輪車蒔絵螺鈿手箱  
平安時代・12世紀  
本館12室 2019年1月2日(水)～3月31日(日)  
蒔絵と螺鈿を用いて無数の車輪を描き、内面には金・銀の研  
出時絵で草花や飛鳥を散らしています



色絵月梅図茶壺  
仁清 江戸時代・17世紀  
本館13室  
2019年1月2日(水)～3月17日(日)  
仁清得意の轆轤技術と、見事な  
構図の月梅図が見どころの優品



富嶽三十六景・凱風快晴  
葛飾北斎筆 江戸時代・19世紀  
本館10室 2019年1月2日(水)～1月27日(日)  
夏快晴の朝、赤く染まった富士山の威容が姿を現しています



(右隻)

トーハクのお正月といえばやっぱこれだほ！



松林図屏風  
長谷川等伯筆  
安土桃山時代・16世紀  
本館2室  
2019年1月2日(水)～1月14日(月・祝)  
墨の濃淡だけで、木々が織りなす光と風の情景が生みだされています



映像のイメージ ©Prototype.inc

国宝「松林図屏風」  
（本館2室 国宝室…  
2019年1月2日  
～1月14日）の展示  
に合わせ、高精細複  
製品の松林図屏風を、  
映像とともにじっくり  
お楽しみいただく  
展示です。  
この展示では、畳  
に座り、ガラスケー  
スなして、ゆっくり  
とご覧いただけます。  
墨で描かれた松林図  
ならではの色や表現  
などをお楽しみくだ  
さい。また、屏風に  
は晩冬の松林の一日  
が映し出されます。  
朝もやの中から松林  
が浮かびあがり、太  
陽によって色が変化  
し、雪が降り積もり、  
夜を迎えます。通常  
の展示とは違う松林  
図の世界もぜひ体験  
してください。

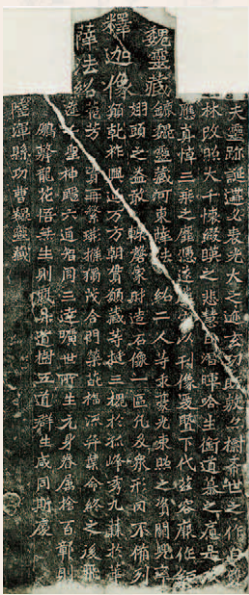
本館特別4室  
2019年1月2日(水)▼2月3日(日)

間近で松林図の世界を体感  
高精細複製品による  
あたらしい屏風体験  
松林図屏風



### 力強さは平和への思い

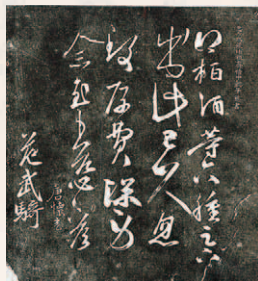
国家の平安を願い、魏靈蔵らが釈迦像一軀を作る経緯を刻したものです。雄大な表現の書で、龍門造像記のなかで上品4つのうちの1つに数えられます



**魏靈蔵造像記**  
中国 北魏時代・5世紀  
今泉雄作氏寄贈

### 華麗なる一族の書

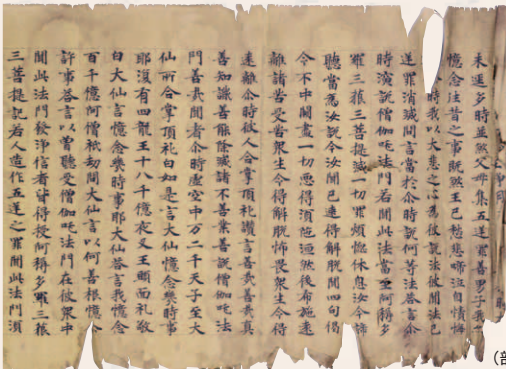
王羲之と同族の子孫の王慈もまた、能書として知られます。この手紙にみられる華麗な字姿には、王羲之の子の王献之の影響が見られます



**草書栢酒帖**  
王慈筆  
中国 齊時代・6世紀  
高島菊次郎氏寄贈

### 南朝と北朝の融合

僧伽吒経という仏典の写本の一部です。南北両朝の書法が融合した隋時代の肉筆として貴重で、字姿には整った造形美が見られます



**僧伽吒経巻第二** 中国 隋時代・大業12年(616)  
東京・台東区立書道博物館蔵(中村不折コレクション)

書聖 王羲之が活躍した東晋時代(317~420)に続く南北朝時代(439~589)、南には漢民族北には異民族による王朝が並立しました。王羲之、王献之の親子の書を継承する流麗な南朝の書と、異民族による雄大な北朝の書は、相互に影響を与え合いながら発展し、隋(581~618)による南北の統一によって端正で美しい楷書が生まれました。そして唐時代(618~907)には洗練された書に至ります。本特集では、中国で書法が最高潮に到達した東晋と唐の架け橋となる時代に焦点をあて、石碑の拓本や法帖、そして当時の肉筆から、書の流れをご紹介します。台東区立書道博物館との連携企画第16弾、ご期待ください。(一人部克典)

楷書が完成するまでの流れをたどる

# 特集 王羲之の書法の残影

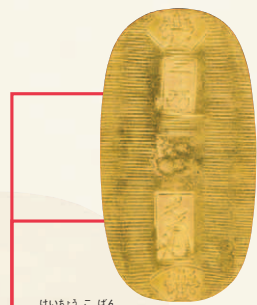
## 唐時代への道程

書聖 王羲之が活躍した東晋時代(317~420)に続く南北朝時代(439~589)、南には漢民族北には異民族による王朝が並立しました。王羲之、王献之の親子の書を継承する流麗な南朝の書と、異民族による雄大な北朝の書は、相互に影響を与え合いながら発展し、隋(581~618)による南北の統一によって端正で美しい楷書が生まれました。そして唐時代(618~907)には洗練された書に至ります。本特集では、中国で書法が最高潮に到達した東晋と唐の架け橋となる時代に焦点をあて、石碑の拓本や法帖、そして当時の肉筆から、書の流れをご紹介します。台東区立書道博物館との連携企画第16弾、ご期待ください。(一人部克典)

東洋館 8室  
2019年1月2日(水)  
3月3日(日)

### 表面の金薄板はなんと、厚さ1ミリ!

「壹(一)両」「光次(花押)」の極印。後藤光次が最初に小判を作ったとされます



**慶長小判**  
安土桃山~江戸時代・慶長6頃~元禄8年(1601頃-1695) 大川功氏寄贈

### ダイナミックな墨判!

「拾(十)両 後藤(花押)」の墨判。金工の後藤家が製造を担いました



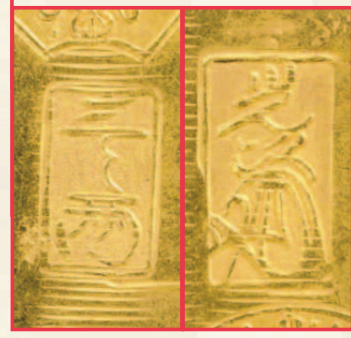
**享保大判**  
江戸時代・享保10~11年(1725-26) 大川功氏寄贈

### 超貴重な大判!

下縁の桐紋極印の枠が菱形なのでこの名があります。現存例は世界にわずか6点とも



**天正菱大判**  
安土桃山時代・天正16年(1588) 大川功氏寄贈



(部分)

「山吹色」の輝き、独特の形式美を、ぜひご覧ください。(伊藤信二)

大判・小判は近世を通じて使用された金貨で、幕府の管理のもと、ある決まった形式にのっとり製造されました。規格化された金貨としての大判は天正16年(1588)豊臣秀吉が作らせた「天正大判」に始まります。小判はこれに遅れ、大判の形式にならう形で、慶長6年(1601)頃徳川家康が作らせた「慶長小判」が始まりとされます。ただ小判は実際に流通したのに対し、大判は贈答用などに使われました。当館には2002年に大川功氏より一括寄贈を受けた、貨幣の一大コレクションがあります。本特集ではこのコレクションから大判小判をよりすくりに展示します。本物の「山吹色」の輝き、独特の形式美を、ぜひご覧ください。

山吹色に輝く金貨のコレクション

# 特集 大判と小判

「山吹色」の輝き、独特の形式美を、ぜひご覧ください。(伊藤信二)

本館 14室  
2019年1月2日(水)  
2月3日(日)



# Pick up!

本館

秘密の絵巻を見られます

## 重文 馬医草紙

3室 宮廷の美術  
2019年1月2日(水)～2月3日(日)

古来より、馬は軍事、輸送、伝達、農耕など、さまざまな用途に用いられた貴重な家畜です。そのため、馬の病気や怪我をケアする専門の医者も存在していたようです。

この絵巻は馬の医者への秘伝書として伝わった作品です。古の中国、日本の馬の守護神や名医、著名な名馬の姿とともに、馬に用いる薬草を、鎌倉時代に流行したスケッチ風の「似絵」の描法で描きます。

奥書には、この巻物を他見してはならないとありますが、今ならこの秘密の絵巻をご覧ください。絶好のチャンスです。数十年ぶりの公開となる個人蔵の馬医草紙断簡もあわせてご覧下さい。



◎馬医草紙  
鎌倉時代・文永4年(1267)  
巻頭は麒麟と満塩という名の馬。元にはまぐさも見えます

(土屋貴裕)

本館

ひびが入ってもなお美しい

## 重文 青磁輪花碗 銘馬蝗絆

4室 茶の美術  
2019年1月2日(水)～3月31日(日)



◎青磁輪花碗 銘馬蝗絆  
中国・龍泉窯 南宋時代・13世紀  
三井高次氏寄贈  
端正な器形と澄んだ青緑色の美しい釉色にもちろん注目

大きなひび割れがあり、鏝で留めてあります。傷物といえば、普通は価値が下がるもの。しかし、この茶碗の場合、修理が施されていることにより、いつそう名声が高まっているのです。

この茶碗には江戸時代の儒学者伊藤東涯(1670～1736)が著した『馬蝗絆茶甌記』が添っています。それによると、室町幕府八代将軍足利義政(1436～90)が所持していたおり、ひび割れがあったため、中国に送ってこれに代わる物を求めたところ、これほどの物ははや手に入らないと、鏝で修理して丁寧に送り返してきました。この茶碗の由緒来歴と評価の高さを物語る有名なエピソードです。(今井敦)

本館

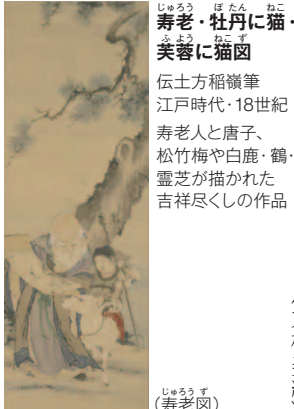
お正月ならではの図様

## 寿老・牡丹に猫・芙蓉に猫図

8室 書画の展開  
2019年1月2日(水)～2月3日(日)

今回ご紹介するのは、鳥取藩の御用絵師 土方稲嶺筆と伝えられる、お正月にふさわしい吉祥尽くしの作品です。大きな松の下に寿老人と唐子、白鹿という吉祥画題が描かれているのはすぐにわかります。もう少し細かく画面を見ると、寿老人が広げている掛軸には竹と鶴が、唐子が持つ団扇には梅が描かれ松竹梅を表していることに気が付きます。さらによく見てみると、唐子は長寿を意味する靈芝も持っています。きつと当時この作品を見た人々も「ここにも！」と言いながら楽しくおめでたい図様を探したのではないでしょうか。そんな縁起のよい作品を、年の初めにぜひ展示室でご覧ください。

(大橋美織)



◎寿老・牡丹に猫・芙蓉に猫図  
伝土方稲嶺筆 江戸時代・18世紀  
寿老人と唐子、松竹梅や白鹿・鶴・靈芝が描かれた吉祥尽くしの作品

本館

若い仏師が作る仏像

## 重文 阿弥陀如来立像

11室 彫刻  
2019年1月20日(日)



◎阿弥陀如来立像  
永仙作 鎌倉時代・正嘉3年(1259)  
安田善次郎氏寄贈  
袈裟に施された、金箔を細く切って貼り付けた截金文様にもご注目ください

往生者を迎えるとき来迎印を両手に結ぶ、阿弥陀如来像。鎌倉時代以降、三尺(約90センチ)ほどの大きさであらわす立像が盛んに造られました。早く迎えに来て欲しいという人びとの願いを表わすように、前傾する姿勢も特徴のひとつです。本像は頭部に記された墨書により、正嘉3年(1259)に、真観法師が施主となり、父母の悟りなどを願って当時21歳だった永仙という仏師に造らせたことがわかります。まだ若かったためか、顔の表情が少し固く、着衣の理解に不十分な点も見られますが、真面目に仕事へ取り組む様子が彷彿とされます。(西木政統)



東洋館

ユニークな造形が目をひく

「眼の偶像」

2019年1月14日(月・祝)

3室 西アジア・エジプトの美術

アラバスターと呼ばれる石材で作られた板状の小像で、頭部には、目だけが強調して表現されています。「眼の偶像」はメソポタミアで都市化が進展した後期銅石器時代(前4千年紀)に盛んに作られました。一般に神への奉納物であったとされ、人々が祈りとともに神殿に納めたものと考えられています。

北メソポタミア(現在のシリア)の都市遺跡テル・ブラクでは、1937〜38年に、このユニークな小像が千点以上も出土しました。発掘を指揮した考古学者マックス・マロワンがこれを「眼の偶像」と呼び、現在でもそれが通称となっています。(小野塚拓造)

「眼の偶像」

後期銅石器時代(3期)・前3800~前3600年頃  
シリア、テル・ブラク出土 古澤静子氏寄贈  
神への奉納物か。文明揺籃期の宗教行為の一端を伝えています



東洋館

初期の白磁、選りすぐりの名品が勢ぞろい

特集 白磁の誕生と展開

2019年1月2日(水)〜4月21日(日)

5室 墳墓の世界



◎白磁水注  
中国 初唐・7世紀  
横河民輔寄贈

釉はほぼ剥落していますが、当初はガラスのようなつやを放っていたと推測されます

あれ? 鳳凰の頭の形をした蓋がない。トーハク通の皆様ならお気づきのはず。こちらは、横河コレクションの名品として知られる重要文化財「白磁水注」です。蓋を外してみると、注器である形がより強く印象に残りますね。

今回の特集は、磁器生産を自家薬籠中のものとした中国において、白磁がどのように生まれ、展開したのかという問題をテーマにしました。隋、初唐に位置づけられる貴重な「初期白磁」の作例を公益財団法人常盤山文庫所蔵品と当館所蔵品の中から選りすぐり、紹介いたします。どうぞお楽しみに。

(三笠景子)

東洋館

おめでたいモチーフいろいろ

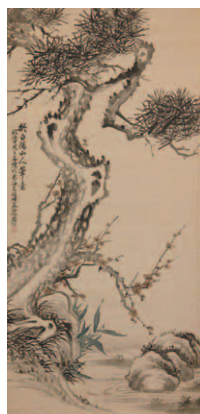
「吉祥」

「歳寒三友を中心に」

2019年1月2日(水)〜2月11日(月・祝)

8室 中国の絵画

厳寒の中、緑を保つ松と竹、そして他に先駆けて花開く梅は、高潔な人物の友にふさわしい「歳寒三友」と称えられました。文人画家は、これらを好んで画題に選び、筆墨の美しさを強調して表しています。一方で、松は不老長寿、竹は平安、梅は子孫繁栄、というように、歳寒三友は、めでたい植物でもありました。このため、しばしば他の吉祥モチーフと組み合わせられ、色彩豊かに描かれてもいます。新年にあたって、松・竹・梅を中心にした吉祥画の数々をお楽しみください。(植松瑞希)



松竹梅図

周愈筆  
中国 清時代・同治13年(1874)  
周愈は明治時代に来日していた画家で、中国語教師も務めていました

東洋館

龍をあしらった豪華な装身具

金銅龍文透彫雲珠

金銅辻金具

2019年4月21日(日)

10室 朝鮮の王たちの興亡

金色に輝く装身具で馬を飾り立てる文化は、朝鮮半島では統一新羅時代にかけて絶頂期に至ります。



金銅龍文透彫雲珠・金銅辻金具

統一新羅時代・7世紀 伝韓国陝川出土  
小倉コレクション保存会寄贈  
大部分が錆に覆われていますが、かつては金色に輝いていました

ごとに画像両側にあるような小ぶりの辻金具を取り付けたのです。あらためて雲珠を見てもみましょう。上面に蓮弁をぐるりと配し、茎に見立てた鉄心を挿して、先端に蓮のつぼみをあしらっています。胴部には龍。画面いっぱいには疾駆する姿は力強く、また切れ味するどい稜線が織りなすその造形は清々しくもあります。

(市元聖)



# Pick up!

## 線刻中台八葉院鏡像 (唐花鏡)

岡山県高梁市 マゴロ山経塚出土  
平安時代・11世紀  
胎蔵界曼荼羅の中心である中台八葉院が  
線刻されています



(部分)

経塚とは、仏教の末法思想の考えにも  
とづいて、写経した経典を経筒に入れ、  
未来へ守り伝えるために地中に納めた  
遺跡です。経筒以外にも合子や刀子、銅  
銭などさまざまなものが一緒に納められ  
ました。その中でも今回は鏡に注目。  
経塚が作り始められる平安時代にはい  
わゆる国風文化が広まり、鏡にも桜や松  
など日本の自然の情景があらわのままに  
表現されるようになります。また、経塚  
に副納される鏡には、墨書による銘文や  
線刻による図像が刻まれたり、経筒の底  
板として用いられたりするなど、本来の  
用途とは異なる使われ方をすることも  
ありました。普段とは違う鏡の姿を、ぜ  
ひ間近でご覧ください。(飯田茂雄)

### 平成館

#### 鏡の多様なあり方

## 経塚出土の鏡

2019年1月2日(水)～5月26日(日)

考古展示室

### 法隆寺宝物館

#### デザインの変遷に注目

## 染織―絹傘と古代の天蓋

2019年1月2日(水)～1月27日(日)

第6室



- ①: 赤地葡萄唐草文綾天蓋垂飾  
飛鳥～奈良時代・7～8世紀
- ②: 黄地唐花文錦天蓋垂飾  
飛鳥～奈良時代・7～8世紀
- ③: 赤茶地震澤鳥文縹絹平絹天蓋垂飾  
以上2件 正倉院伝来 奈良時代・8世紀  
美しい古代日本の染織美術をご覧ください

今回は法隆寺献納宝物と正倉院伝来  
の染織品から、天蓋の残欠を展示しま  
す。天蓋とは古代インドの日除け傘を  
起源とするもので、そこに尊い人々が  
いる目印として、儀礼の場を飾る荘厳  
に取り入れられました。古代日本の場  
合は主に平面が正方形で、四辺には逆  
三角形の飾りが並ぶように取り付けら  
れました。その形は7世紀後半から8  
世紀半ばにかけて徐々に変化してい  
きました。法隆寺伝来の作品(①)をみる  
と鋭角ですが、正倉院伝来の作品(②)  
では蓮の花弁のような形や、四角に近  
いもの(③)が見られます。(三田寛之)

### 黒田記念館

#### 後の洋画壇に大きな影響を 与えた名作

## 重文 舞妓

2019年1月2日(水)～1月14日(月・祝)

特別室



●舞妓

黒田清輝筆 明治26年(1893)  
京都祇園の舞妓がモデル。鴨川の流れを背に、  
華やかな姿を描き出しています

明治26年夏、9年におよぶフランス  
留学より帰国した黒田清輝は、その年  
の秋に京都に滞在します。東京育ちの  
黒田にとって京都は初めての地だった  
ことにくわえ、ながらく日本を離れて  
いた彼の眼には、京都の風俗が二重の  
意味で新奇にうつったようです。  
舞妓の着物を描くにあたり、黒田は  
赤や黄、朱といった、さまざまな色の  
タッチを散らしながら、その柄を表現  
しました。留学中には取り組むことの  
なかったモチーフによる、色彩豊かな  
画面からは、日本の洋画壇を刷新しよ  
うとする黒田の意気込みが感じられま  
す。(東京文化財研究所・塩谷純)

### 1000年後の未来に バトンタッチ!

#### 保存と修理情報 50

## X線撮影による、 展示前の確認調査

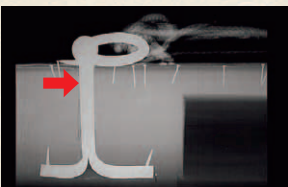
特別展「顔真卿  
王羲之を超えた名  
筆」では、超大型  
の掛軸「紀秦山銘」  
が展示されます。  
この作品は百年以  
上展示されること  
がなかったため、  
安全に展示できる

か危惧されました。そこで分析機器  
メーカーからお借りしたポータブル  
デジタルX線受光器を収蔵庫に  
持ち込み、作品を吊るす紐と金具が  
取り付けられている箇所の構造調査  
を行いました。その結果、金具の構  
造やサビの有無などが確認でき、展  
示に十分耐えられると判断して、今  
回展示することとなりました。展示  
前に作品を取り巻くリスクを検討  
し、解消してから展示することで、  
作品を永く伝えることができました。  
(荒木臣紀)

軸上部に付いて  
いる半月形の木  
に金具が取り付け  
られ、紐が通っ  
ています



撮影の結果、金  
具(矢印)がしっ  
かりと固定され  
ていることが判  
明しました  
画像提供:  
株式会社リガク





# 1月 展示案内

ます。

4

3-3

3-2

3-1

2

14

13-3

13-2

13-1

12

- 1-1: 日本美術のあけぼの一縄文・弥生・古墳
- 1-2: 仏教の興隆一飛鳥・奈良
- 2: 国宝室
- 3-1: 仏教の美術一平安～室町
- 3-2: 宮廷の美術一平安～室町
- 3-3: 禅と水墨画一鎌倉～室町
- 4: 茶の美術
- 5-6: 武士の装い一平安～江戸
- 7: 屏風と襖絵一安土桃山・江戸
- 8-1: 暮らしの調度一安土桃山・江戸
- 8-2: 書画の展開一安土桃山・江戸
- 9: 能と歌舞伎
- 10: 浮世絵と衣装一江戸
- 11: 彫刻
- 12: 漆工
- 13-1: 金工
- 13-2: 刀剣
- 13-3: 陶磁
- 14: 特集
- 15: 歴史の記録
- 16: アイヌと琉球
- (17: 保存と修理)
- 18: 近代の美術



## 2019年1/2(水)-2/3(日)

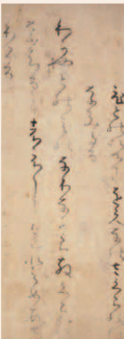
3-2

### ◎馬医草紙

鎌倉時代・文永4年(1267)  
世にも珍しい馬の医者(秘伝書)。有名な馬医や名馬、葉草の図を表しています →7ページ



(部分)



### ◎貫之集断簡(自家集切)

伝紀貫之筆 平安時代・10世紀  
森田竹華氏寄贈  
万葉仮名を草書にした古い書体である草仮名で記されています

## 2019年1/2(水)-2/3(日)

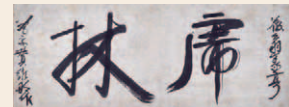
3-3

### ◎布袋図 狩野正信筆 景徐周麟賛

室町時代・15世紀 文化庁蔵  
弥勒の化身ともいわれた布袋がとても平俗な姿で描かれています



### ◎虎林字号 徹翁義亨筆 南北朝時代・14世紀



## 2019年1/2(水)-2/3(日)

7

◎紅白梅図屏風 江戸時代・17世紀 東京・高林寺蔵  
金地の背景に鋭い枝振りの紅白梅と仲睦まじい鳥を描いた華やかな一作



(部分)

### ◎松竹梅図屏風

狩野常信筆 江戸時代・17世紀 京都・知恩院蔵



(部分)

## -2019年1/27(日)

### ◎群鶴時絵観箱

江戸時代・18世紀 松永安左工門氏寄贈



千年生きるといふ鶴が群れをなす、おめでたい図柄を描いた華やかな一作

### ◎色絵松竹梅文瓶

伊万里 江戸時代・17世紀



8-1

## 2019年1/2(水)-3/31(日)

4



### ◎祥瑞茄子香合

中国・景德鎮窯 明時代・17世紀  
広田松繁氏寄贈



### ◎青磁尊形花入

中国・龍泉窯 毛利家伝来  
南宋～元時代・13世紀  
南宋から元時代にかけて隆盛した中国龍泉窯の青磁。戦国大名の雄、毛利家に伝わりました

## 2019年1/2(水)-3/10(日)

5-6

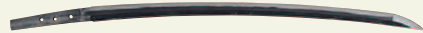
### ◎白糸威胴丸具足

江戸時代・17世紀



### ◎刀 無銘 伝長船元重

南北朝時代・14世紀  
徳川家康の次男 結城秀康が用いたもので、鞘は鮮やかな朱漆としています



### ◎朱漆打刀(◎刀 無銘 伝長船元重の拵)

安土桃山～江戸時代・16～17世紀



## 本館 2F:1~10

1-1

## 2019年1/2(水)-6/23(日)

### ◎埴輪 踊る人々

埼玉県熊谷市 野原古墳出土  
古墳時代・6世紀  
片手を挙げて踊る人物埴輪。馬の手綱を曳く可能性も指摘されています



### ◎壺形土器

茨城県日立市十王町 十王台遺跡出土  
弥生時代(後期)・1~3世紀 個人蔵

1-2

## 2019年1/2(水)-4/21(日)

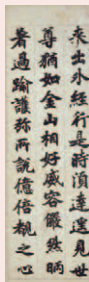
### ◎金銅鉢

奈良時代・8世紀



### ◎賢愚經断簡(大聖武)

伝聖武天皇筆 奈良時代・8世紀  
筒井邦子氏寄贈  
「大聖武」と称される雄渾な書風の「賢愚經」断簡です



2

## 2019年1/2(水)-1/14(月)・(祝)

### ◎松林図屏風

長谷川等伯筆 安土桃山時代・16世紀 →5ページ



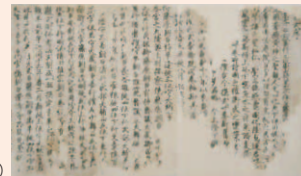
(左隻)

## 2019年1/16(水)-2/11(月)・(祝)

### ◎延喜式 巻一

平安時代・11世紀

律令の施行細則である式の集大成。まとまった写本として現存最古のものです



(部分)

3-1

## 2019年1/2(水)-2/3(日)

### ◎千手観音二十八部衆像

鎌倉時代・13世紀  
広田松繁氏寄贈



### ◎准胝仏母像

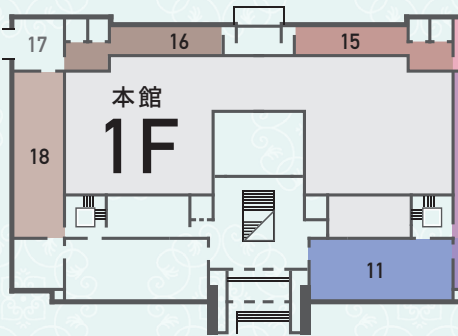
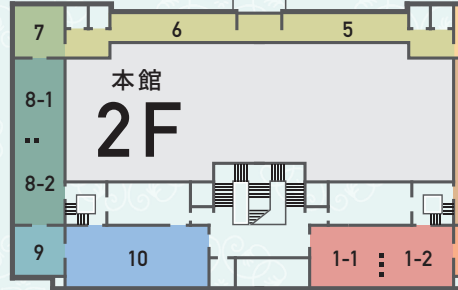
平安時代・12世紀  
密教像らしい多臂の官能的な姿が印象的です



# 本館展

[12月]

\*12月10日(月)~2019年1月1日(火・祝)まで、  
本館2階「日本美術の流れ」は展示環境改善のため閉室し



**-2019年2/17⑩** 13-2

●**太刀 伯耆安綱(名物 童子切安綱)**  
平安時代・10~12世紀  
安綱は現在の鳥取県の刀工で、この太刀は安綱の代表作として著名です

○**太刀 長船景光**  
鎌倉時代・延慶2年(1309) 宮腰巴夫氏寄贈

**10** 浮世絵

**2019年1/2⑩-1/27⑩**  
ふぐきんじゆうちうけい がいふうかいせい  
**富嶽三十六景・凱風快晴**  
葛飾北斎筆  
江戸時代・19世紀  
→5ページ

**美人見立曾我の対面**  
喜多川歌麿筆  
江戸時代・18世紀  
当時の有名な美人たちを、仇討ちで著名な「曾我の対面」に見立てた作品  
(3枚続のうち)

**-12/25⑩** 13-3

**織部獅子鈕香炉**  
美濃 江戸時代・慶長17年(1612)  
慶長17年(1612)の銘を持つ織部焼の貴重な作例。どしりと座る獅子が目を引きま

**2019年1/2⑩-3/17⑩**  
いろえびつばいずちやつぽ  
○**色絵月梅図茶壺**  
仁清 江戸時代・17世紀  
→5ページ

**2019年1/2⑩-2/3⑩** 14

**天正菱大判**  
安土桃山時代・天正16年(1588)  
大川功氏寄贈  
当館自慢の大判小判コレクション。特に天正菱大判は世に10枚とない激レア品 →6ページ

**万延大判**  
江戸時代・万延元年~文久2年(1860~62)  
大川功氏寄贈

**2019年1/2⑩-2/24⑩** 10 衣装

**小袖 紅綸子地桐樹鳳凰模様**  
旧久留米藩藩士家伝来  
江戸時代・18世紀  
桐樹に住む鳳凰を表わした吉祥模様は武家女性の晴着

**打掛 白綸子地貝桶模様**  
江戸時代・18世紀

**本館 1F: 11~16, 18**

**-12/25⑩** 15

◎**九州沿海図(大図) 第九**  
江戸時代・19世紀  
現在の宮崎県延岡市、日向市付近です

**2019年1/2⑩-2/24⑩**  
江戶城本丸大奥総地図  
江戸時代・19世紀  
江戸城本丸のうち奥向きを示した絵図。上方(北)に天守台があります

**-2019年1/20⑩** 11

◎**阿弥陀如来立像**  
永仙作  
鎌倉時代・正嘉3年(1259)  
安田善次郎氏寄贈 →7ページ

**2019年1/22⑩-4/14⑩**  
蔵王権現立像  
鎌倉時代・12~13世紀  
山岳修験で信仰された蔵王権現。右脚を蹴りあげながら岩座に立つ躍動的な姿が印象的

**8-2**

(部分)

**2019年1/2⑩-2/3⑩**

**聚楽第行幸和歌巻**  
鳥丸光広筆  
江戸時代・17世紀  
秀吉が後陽成天皇を聚楽第に迎えた際の和歌会の記録。鳥丸光広晩年の筆跡

**寿老・牡丹に猫・芙蓉に猫図**  
伝土方稻嶺筆  
江戸時代・18世紀  
→7ページ  
(寿老図)

**-2019年1/20⑩** 16

**脚絆**  
北海道アイヌ 19世紀  
ウィーン万国博覧会事務局引継

**盆**  
北海道アイヌ 19世紀  
ウィーン万国博覧会事務局引継  
土産品として作られた、動物の顔のようなデザインの丸盆です

**-12/25⑩** 12

◎**桐蒔絵手箱及び内容品**  
南北朝時代・明德元年(1390) 奉納和歌山・熊野速玉大社蔵  
足利義満らの主導により、熊野速玉大社の各社に奉納された神宝のうちの一つ

**2019年1/2⑩-3/31⑩**  
◎**片輪車蒔絵螺鈿手箱**  
平安時代・12世紀 →5ページ

**2019年1/2⑩-2/24⑩** 9

**厚板 藍茶段立浦世秋模様**  
江戸時代・18世紀  
吉祥模様の竹に有職模様である立浦。神々や高貴な役にふさわしい

**唐織 緑紅茶段青海波花熨斗扇々顔模様**  
上杉家伝来 江戸時代・18世紀 →5ページ

**-2019年1/20⑩** 18

**五節句**  
落合芳幾筆 明治時代・19世紀  
正月、弥生、端午、七夕、重陽の五つの節句を描いて1年を寿ぎます

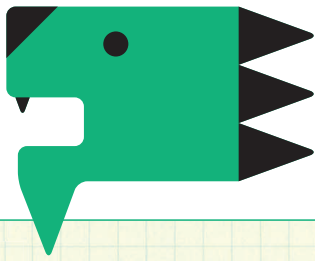
**2019年1/22⑩-3/3⑩**  
◎**弱法師**  
下村観山筆  
大正4年(1915) (部分)

**-12/25⑩** 13-1

**明王像懸仏**  
伝和歌山阿須賀神社  
経塚出土  
室町時代・15世紀  
武吉道一氏寄贈

**2019年1/2⑩-4/7⑩**  
◎**金銅火爐宝珠形舍利容器**  
鎌倉時代・13~14世紀  
密教法具を組み合わせたシャープでソリッドな造形が魅力





# みどりのライオン

みんなで楽しむ教育スペース  
EDUCATION CENTER 教学中心 교육센터

教育普及事業

ART  
1

## 知る楽しみ、学ぶ喜び 講演会・ギャラリートーク・ガイダンス

### 講演会

#### 月例講演会「漢時代の画像石」

日時：12月1日(土) 13:30~15:00

講師：市元壘(東洋室主任研究員)

画像石は、神話や歴史故事などを表した建築資材で、宮殿や墳墓の壁に用いられました。最近の話題をまじえつつ、画像石の基礎をご紹介します。

#### 月例講演会「初期白磁」—白磁の始まりとその展開—

\*関連展示：本誌8ページ

日時：2019年1月12日(土) 13:30~15:00

講師：佐藤サアラ(常盤山文庫主任学芸員)

三笠景子(平常展調整室主任研究員)

私たちの身近にあふれる白磁。その特殊な始まりについてお話しします。

\*会場は平成館大講堂、定員380名、聴講無料(ただし当日の入館料が必要)

\*開場は開始の30分前(予定)

### ギャラリートーク

#### 青白石の魅力

日時：12月11日(火) 14:00~14:30 東洋館8室

講師：植松瑞希(出版企画室研究員)

花・鳥・虫・魚など、中国絵画の歴史の中で長く愛されてきたモチーフを、青白石がどのように自分らしく表現したのかをご紹介します。

#### 「イニ像浮彫」が伝える歴史

日時：12月18日(火) 14:00~14:30 東洋館3室

講師：小野塚拓造(平常展調整室研究員)

イニは、今から4000年以上前の古代エジプト古王国時代に活躍した貴族です。彼が残した浮彫の図像、時代背景、史料の価値についてお話しします。

#### 京都御所 飛香舎(藤壺)の調度

日時：12月21日(金) 18:30~19:00 本館14室

講師：猪熊兼樹(特別展室主任研究員)

平安時代の古制に基づき、復古調で製作された調度を紹介します。

#### 古典の香り「祝賀」

日時：2019年1月18日(金) 18:30~19:00

本館地下 みどりのライオン(教育普及スペース)

講師：田邊留美子(登録室アソシエイトフェロー)

いにしへの祝賀の場にまつわる香りについてお話しします。また、復元した王朝時代の薫物の香りをお楽しみいただきます。

#### 密教の灌頂用具について

日時：2019年1月22日(火) 14:00~14:30

本館地下 みどりのライオン(教育普及スペース)

講師：伊藤信二(博物館教育課長)

師から弟子へと法脈を伝える密教の師資相承の儀式「灌頂」で使われる仏具についてお話しします。

#### 中国絵画にみる吉祥の世界

\*関連展示：本誌8ページ

日時：2019年1月29日(火) 14:00~14:30

東洋館8室

講師：植松瑞希(出版企画室研究員)

「歳寒三友」と称えられた松・竹・梅をはじめ、中国絵画にあらわされた吉祥の意味を持つ植物を紹介します。

松竹梅図  
周憲筆  
中国 清時代  
同治13年(1874)



### 東京藝術大学大学院インターンによるギャラリートーク

\*各回15:30~15:50

#### 浅井忠「グレーの秋」

日時：12月15日(土)、20日(木)、

2019年1月16日(水)、20日(日)、23日(水)、25日(金)

解説：岩井智子(美術研究科芸術学専攻 日本・東洋美術史研究室)

本館18室

色彩と光の表現を中心に、浅井忠「グレーの秋」の魅力をご紹介します。

#### 「色絵月梅図茶壺」の魅力に迫る

\*関連展示：本誌5ページ

日時：2019年1月11日(金)、18日(金)、26日(土)、30日(水)、

2月2日(土)、6日(水)

解説：倉澤佑佳(美術研究科芸術学専攻 工芸史研究室)

本館13室

野々村仁清の「色絵月梅図茶壺」の魅力、色絵と技法を中心にをご紹介します。

#### 落合芳幾「五節句」にみる江戸の文化

日時：12月13日(木)、16日(日)、19日(水)、23日(日・祝)、

2019年1月9日(水)、17日(木)

解説：神野有紗(美術研究科芸術学専攻 日本・東洋美術史研究室)

本館18室

落合芳幾による肉筆浮世絵「五節句」から、人々の暮らしを読み解きます。

#### 「揺銭樹」にみる古代中国・四川地域の死生観

日時：12月12日(水)、22日(土)、25日(火)、

2019年1月10日(木)、12日(土)、24日(木)

解説：廣谷妃夏(美術研究科芸術学専攻 工芸史研究室)

東洋館5室

「揺銭樹」に古代中国の人々が託した望みとその造形を読み解きます。

ART  
2

## 五感を使った美術体験 ワークショップ・ツアー

なかなか見られない  
修理現場を見に行こう!



事前申込制 [ウェブサイトフォーム]

### バックヤードツアー

#### 「保存と修理の現場へ行こう」

文化財の保存と修理についての解説および修理室等のバックヤードツアーを行います。関連展示や修理室、さらに大型CTスキャナーなど最新の分析機器をご案内します。

日時：2019年3月15日(金)

14:00~16:30

定員：60名程度

(応募者多数の場合は抽選)

参加費：無料(ただし、高校生を除く)

18歳以上70歳未満の方は、

別途当日の入館料が必要)

申込方法：当館ウェブサイトのフォームで

お申込みください。1回の入力で1名のみ申込可

申込締切：2019年1月31日(木)

お問合せ：TEL 03-3822-1111 (代) 教育講座室





あなたの鑑賞をサポート

## ボランティアによる事業

### 平成31年度ボランティア募集のお知らせ

平成31年(2019)4月から3年間の任期で活動するボランティアを約50名募集します。

活動内容：来館者対応が中心。館内のご案内や体験コーナーの運営のほか、職場体験の生徒さんとの活動、イベントやワークショッププログラムの補助、スクールプログラムの実施などを行っています。さらに興味があれば、ガイドツアーなども行うことができます。

条件：18歳以上、月2回以上の活動ができること。そのほか、資格は必要ありません。トーハクが好き、人と接するのが好き、前向きで協調性のある方の応募をお待ちしています。

応募受付：12月10日(月)～2019年1月10日(木)(17時必着。郵送のみ受付)  
応募用紙は当館ウェブサイトからもダウンロードできます。

東博ボランティアデー(12月1日(土)・2日(日))では、ボランティア活動を紹介するツアーや、募集説明会を行います。お気軽にご参加ください。(高校生を除く18歳以上70歳未満の方は当日の入館料がかかります)。

### ◆ボランティア活動紹介ツアー

時間：各日10:30～11:30、13:30～14:30、15:00～16:00

(随時受付、ツアー時間は30分程度)

受付：本館地下 みどりのライオン(教育普及スペース)

### ◆ボランティア募集説明会

時間：各日10:00～10:30、13:00～13:30、14:30～15:00、16:30～17:00

場所：本館地下 みどりのライオン(教育普及スペース)

事前申込制 [往復はがき、ウェブサイトフォーム]

## アートスタジオ

### 子どもの勾玉作り

平成館考古展示室にある勾玉を見学した後、滑石を加工してオリジナルの勾玉を制作します。完成作品はお持ち帰りいただけます。

日時：2019年2月3日(日) 13:30～15:30

会場：本館地下 みどりのライオン(教育普及スペース)

対象：小学3年生～中学生(保護者の見学可)

定員：20名程度(応募者多数の場合は抽選)

参加費：無料(ただし、高校生を除く18歳以上70歳未満の方は当日の入館料が必要)

申込方法：当館ウェブサイトのフォームか往復はがきでお申込みください。往復はがきの場合には、「往信用裏面」に(1)参加者全員(2名まで)の氏名・ふりがな、学年、(2)参加者の郵便番号・住所(2名の場合は、それぞれの住所)、(3)代表者の電話番号、(4)保護者が見学の場合はその人数を、また「返信用表面」に代表者の郵便番号・住所・氏名を明記のうえ、下記申込先にお送りください。

申込締切：2019年1月7日(月)必着

申込先：〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9 東京国立博物館 ボランティア室「2月3日勾玉作り」

お問合せ：TEL 03-3822-1111 (代) ボランティア室

- \*事前申込プログラムにお申込みいただいた方には、当落に関わらずご連絡します。実施日の3日前までに受講可否の返答がない場合は、通信トラブルの可能性もありますので、各申込先にお電話でお問合せください。TEL：03-3822-1111 (代)
- \*各種催し物にご応募の際に提供いただいた個人情報は、当該の目的のみ使用させていただきます。終了後はすみやかに破棄します。
- \*インターネットからのお申込みができない方は、お電話でお問合せください。
- \*👉は「ヒアリンググループ」対応、👤は「UDトーク」対応のイベントです。



## ミュージアムショップの 新商品はどう決まるほ？！



東京国立博物館  
協力の  
ミュージアムショップ  
店長の齊藤さん

ミュージアムショップには、所蔵作品をモチーフにした魅力的なグッズがたくさんあります。続々登場する新商品をどのように決めているのか、トナーハクくんがミュージアムショップ店長の齊藤さんにお話を聞きました。

- わーい！ トナーハクのミュージアムショップはいつ来ても楽しいほー！
- そう言っていただけで嬉しいです！
- あ、齊藤さん、ちょうどいいところに！
- たくさんグッズがあるけど、一体どれくらいの種類があるんだほ？
- 約2,000種類の商品を扱っています。
- そのうち8割は、トナーハクのショップでしか買えない商品なんですよ。
- 限定品がそんなにあるんだほ！ どんなグッズが人気なんだほ？
- 文具やお菓子、手ぬぐいは定番の人気商品ですが、最近は外国人のお客様も多く、作品をあしらったTシャツや扇子などが喜ばれています。
- ほお～。ところで、新商品ってどんな風にして決まるんだほ？
- お客様からのご要望がきっかけで商品化が決まるものもあります。
- たとえばこの『はにわソックス』。当初は大人用のものしかありませんでしたが、お客様から「子どもと一緒に履きたい」というご要望をいただいて、子ども用の『こはにわソックス』も作りしました。それが今では人気商品になっています。

カラーバリエーションも豊富！  
はにわソックス 432円(税込)、こはにわソックス 400円(税込)



- えっ！ そしたらボクの要望も聞いて欲しいんだほ！  
ボクの絵柄のTシャツを作って欲しいほ！
- ああー、それは難しいです、ごめんなさい…！
- くはあー！ ストレートにフラれたほおー！  
でもどうしてそう言い切れるんだほ？
- 商品のラインナップは、お客様のニーズと客層を見て決定しています。Tシャツの購入者層は、圧倒的に外国人の方が主なので、その客層に向けてお子様向けの可愛いキャラクターのTシャツを販売するのは難しいと判断したのです。
- うえ～ん(ボクってそんなに人気ないんだほ…！)
- でもねトナーハクくん、以前大変好評で完売していた「ぬいぐるみストラップトナーハクくん」を、2019年に再度販売するために準備中なの。これもお客様からのご要望にお応えした結果なんですよ。
- えっ、ほんと？ 良かったー！ やっぱボクって人気者なんだほ！
- ミュージアムショップは、展示を見終わって、最後にお立ち寄りいただくことが多い場所です。グッズを手にとった時に、心に残った作品や、楽しかった1日を思い出していただけるような、そんな商品づくりができるように心がけています。



ミュージアムショップが楽しいのは、お客様のご要望にお応えしているからなんだね。良いこと言ったらお腹が空いたほ。クッキー食べよーっと！



八橋時絵螺鈿細箱缶入クッキー  
1,080円(税込)

\*本館1階ミュージアムショップは、改修工事のため2018年12月10日(月)～22日(土)までお休みします



## 国際シンポジウム「世界の中の日本美術 —オリエンタリズム・オクシデンタリズムを超えた日本理解—」

欧米や日本のミュージアムにおける日本美術の展示は、他国あるいは自国としての「日本」を表しています。欧米のミュージアムの日本美術専門家とともに、博物館においてどのように日本美術を語るべきかを考えます。日時:2019年1月18日(金) 10:00~17:50(開場9:30) \*休憩あり  
会場:平成館大講堂  
発表者:アン・ニシムラ・モース氏(ボストン美術館)  
ウィブケ・シュラーペ氏(ハンブルク美術工芸博物館)  
矢野明子氏(大英博物館)  
アイヌラ・ユスーポワ氏(プーシキン美術館)  
今井敦(当館学芸研究部調査研究課長) \*同時通訳付  
定員:300名(事前申込制、先着順) 聴講無料  
申込方法:当館ウェブサイトのフォームでお申込みください。  
お問合せ:TEL 03-3822-1111(代) 総務課イベント担当

## 新春東博寄席2019

日時:2019年1月20日(日) 開場13:00 開演13:30  
会場:平成館大講堂 出演:金原亭馬生、古今亭菊春ほか  
料金:2,000円(全席自由) \*当日はイベントチケットで総合文化展をご覧ください。  
(チケットのお求め方法)  
○当館正門チケット売場(窓口、開館日のみ)  
○ローソンチケット(Lコード:34528)  
TEL:0570-000-407(10:00~20:00オペレーター対応)  
0570-084-003(24時間自動音声、要Lコード)  
○ウェブサイト:http://1-tike.com/  
○直接購入:ローソン・ミニストップ店頭Loppi  
お問合せ:TEL 03-3822-1111(代) 総務課イベント担当  
\*月曜~金曜日の9:30~17:00(土日・祝休日、年末年始は除く)  
\*イベントの詳細は当館ウェブサイトでご確認ください。

## 東京国立博物館賛助会のご案内

東京国立博物館では賛助会制度を設け、文化財の購入・修理、調査研究・総合文化展・施設整備等の充実に、幅広くご支援をいただいております。

### ◎年会費

入会日より1年(入会月の翌年同月末日まで)有効

- 〈団体〉プレミアム会員 1000万円以上  
特別会員 100万円/維持会員 20万円
- 〈個人〉プレミアム会員 100万円以上  
特別会員 20万円/維持会員 5万円

### ◎主な特典

特別展内覧会へのご招待 など

### ◎申込方法

当館窓口、当館ウェブサイト(クレジットカード決済)、銀行振込  
お問合せ 電話 03-3822-1111(代) 総務課賛助会担当

## 休館・閉室情報

12月10日(月)~2019年1月1日(火・祝)まで、本館2階「日本美術の流れ」は展示環境改善のため閉室します。

## 2018 トーハク感謝 DAY

今年も年の瀬は1年間の感謝を込めて12月23日(日・祝)、24日(月・休)、25日(火)は、総合文化展が観覧無料! 平成館や法隆寺宝物館などで、無料でお楽しみいただけるコンサートも開催します。1年の締めくくりをどうぞトーハクでお過ごしください。



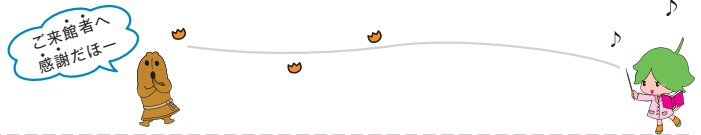
### 東京国立博物館 感謝DAYクリスマスコンサート

日時:12月23日(日・祝) 11:00、14:00、16:00  
24日(月・休) 11:00、15:00  
25日(火) 11:00、15:00(各回30分程度)  
会場:平成館ラウンジ、本館エントランス、法隆寺宝物館エントランス  
出演:12月23日(日・祝) インストゥルメンタル・アコースティック・デュオ  
ジュスカ・グランパール  
24日(月・休) ソンダオーケストラ率いるピアニスト 園田 涼  
25日(火) 韓国・ソウル出身のJ-POPシンガーソングライター K

料金:無料  
協力:大和ハウス工業株式会社

お問合せ:TEL 03-3822-1111(代) 総務課イベント担当

\*月曜~金曜日の9:30~17:00(土日・祝休日、年末年始は除く)  
\*2018 トーハク感謝 DAY イベントの詳細は当館ウェブサイトでご確認ください。



## 東京国立博物館賛助会員 2018年10月4日現在

### 特別会員

- 株式会社 東京書芸館 様
- 日本電設工業株式会社 様
- 株式会社 コア 様
- 大日本印刷株式会社 様
- 株式会社 毎日新聞社 様
- 株式会社 大林組 様
- 朝日新聞社 様
- 株式会社 ホタルオーケストラプライズ 様
- 株式会社 ミロク情報サービス 様
- 読売新聞東京本社 様
- 三菱商事株式会社 様
- 凸版印刷株式会社 様
- 公益財団法人 東芝国際交流財団 様
- 日本写真印刷コミュニケーションズ株式会社 様
- 日本レックス株式会社 様
- サロン・ド・ソネット 様
- TABIZURU FOUNDATION 様
- 株式会社 ホタル 様
- 一般財団法人 東京国立博物館協力会 様

### 維持会員 団体

- 株式会社 三冷社 様
- 株式会社 東京美術 様
- 株式会社 鶴屋吉信 様
- 日本通運株式会社 美術品事業部 様
- 株式会社 安井建築設計事務所 様
- 株式会社 ナガホリ 様
- 松本建設株式会社 様
- 株式会社 古美術数本 様
- 謙慎書道会 様
- 近代書道研究所 様
- 日本畜産興業株式会社 様
- インフォコム株式会社 様
- 学校法人 大膳学院 様
- 有限会社 システム設計 様
- 株式会社 インターネットインシアティブ 様
- 株式会社 小西美術工芸社 様
- 株式会社 ギャラリー・竹柳堂 様
- 株式会社 育伸社 様
- 株式会社 モリサワ 様
- アミ開発有限会社 名古屋支店 様
- 光村図書出版株式会社 様
- 株式会社 資生堂 様
- 株式会社 グラスハウバーンジャパン 様
- 株式会社 デュナミス 様
- キョーマン株式会社 様
- 公益社団法人 創文書道会 様

- 朝陽書道会 様
- 一般社団法人 書芸文化院 様
- 株式会社 精養軒 様
- 株式会社 都市環境企画 様
- 日本空輪株式会社 様
- 株式会社 清光社 様
- 一般社団法人 学士会 様
- 公益財団法人 書道芸術院 様
- アズビル株式会社 様
- セコム株式会社 様
- 株式会社 ニッセイコム 様
- 金剛株式会社 様
- 株式会社オカマ 様
- 株式会社 GIC ジャパン 様
- 株式会社 ロイスタール 様
- 正華会 様
- はごろもアース株式会社 様
- 有限会社 くんカンパニー 様
- 公益財団法人 アダチ伝説木版技術保存財団 様
- エクソロン・インターナショナル株式会社 様
- 株式会社 目の眼 様
- 株式会社 前田酒店 様
- 株式会社 サザンプランニング 様

### 個人

- |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>プレミアム会員</li> <li>岩間良孝 様</li> <li>井茂圭河 様</li> <li>高木千鶴子 様</li> <li>黒田賢一 様</li> <li>特別会員</li> <li>永久幸範 様</li> <li>辻泰二 様</li> <li>谷川紀彦 様</li> <li>佐久間基晴 様</li> <li>井田悦郎 様</li> <li>大山孝良 様</li> <li>田中三伊 様</li> <li>田中御津子 様</li> <li>増山育男 様</li> <li>維持会員</li> <li>伊藤信彦 様</li> <li>数内匡人 様</li> <li>服部悦子 様</li> <li>岩沢美穂 様</li> <li>高田朝子 様</li> <li>齋藤京子 様</li> <li>齋藤邦治 様</li> <li>和田喜美子 様</li> <li>藤原紀男 様</li> <li>中川俊光 様</li> <li>関谷徳衛 様</li> <li>高橋守 様</li> <li>小澤桂一 様</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>上久保のり子 様</li> <li>柳田良豊 様</li> <li>長谷川英樹 様</li> <li>池田孝一 様</li> <li>木村剛 様</li> <li>観世あすか 様</li> <li>星望由尚 様</li> <li>渡辺章 様</li> <li>稲垣哲行 様</li> <li>飯岡雄一 様</li> <li>高瀬正樹 様</li> <li>寺浦信之 様</li> <li>中山裕美子 様</li> <li>吉原知良 様</li> <li>古屋光夫 様</li> <li>根田穂美子 様</li> <li>池嶋洋次 様</li> <li>是常博 様</li> <li>上野孝一 様</li> <li>山田泰子 様</li> <li>柴田隆子 様</li> <li>網村安代 様</li> <li>臼井生三 様</li> <li>津久井秀郎 様</li> <li>杉田純一 様</li> <li>神通豊 様</li> <li>神通豊一 様</li> <li>石川公子 様</li> <li>永田実香 様</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>西岡康宏 様</li> <li>友景紀子 様</li> <li>東野治之 様</li> <li>竹下佳宏 様</li> <li>野澤智子 様</li> <li>坂田浩一 様</li> <li>池谷正夫 様</li> <li>木谷辰巳郎 様</li> <li>渡久地ツル子 様</li> <li>飯嶋浩正 様</li> <li>加藤孝明 様</li> <li>伊佐健二 様</li> <li>高木美華子 様</li> <li>小西時也 様</li> <li>田中幸雄 様</li> <li>三上達雄 様</li> <li>吉田靖司 様</li> <li>坂田貴司 様</li> <li>常博 様</li> <li>山田泰子 様</li> <li>柴田隆子 様</li> <li>伊藤喜雄 様</li> <li>井上隆吉 様</li> <li>細川要子 様</li> <li>鈴木幸一 様</li> <li>秋元文子 様</li> <li>土師詔三 様</li> <li>鏡賢志 様</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>野口圭也 様</li> <li>渡邊雪絵 様</li> <li>佐藤禎一 様</li> <li>田中榮二 様</li> <li>山口隆司 様</li> <li>原一之様</li> <li>会田健一 様</li> <li>相良多恵子 様</li> <li>鈴木徹 様</li> <li>今里美幸 様</li> <li>加藤孝明 様</li> <li>伊佐健二 様</li> <li>高木美華子 様</li> <li>軽部由香 様</li> <li>北川洋子 様</li> <li>村上純 様</li> <li>田中晴紀 様</li> <li>新岡日出夫 様</li> <li>岩本光雄 様</li> <li>山本隆幸 様</li> <li>山上知子 様</li> <li>名取幸二 様</li> <li>増岡信義 様</li> <li>安岡格 様</li> <li>鈴木幸一 様</li> <li>筑紫みずえ 様</li> <li>鳥山玲 様</li> <li>栗山哲夫 様</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>法橋建 様</li> <li>根本亨世 様</li> <li>岡田良雄 様</li> <li>野本陽代 様</li> <li>師田久子 様</li> <li>井茂圭河 様</li> <li>高味良信 様</li> <li>廣田雅雄 様</li> <li>杉山泰規 様</li> <li>吉原孝子 様</li> <li>高橋明子 様</li> <li>小塚泰博 様</li> <li>星弘道 様</li> <li>西永義久 様</li> <li>田浦富己 様</li> <li>山中翠之 様</li> <li>荒木志雄 様</li> <li>関口大志 様</li> <li>柳村衛 様</li> <li>柳澤剛志 様</li> <li>小日向志乃 様</li> <li>松前達郎 様</li> <li>佐藤美子 様</li> <li>横田隆幸 様</li> <li>新保幸男 様</li> <li>中野俊介 様</li> <li>高橋重 様</li> <li>清田志郎 様</li> <li>佐野淑子 様</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>加納隼人 様</li> <li>林和人 様</li> <li>清水透石 様</li> <li>野本陽代 様</li> <li>佐藤美善 様</li> <li>青山慶示 様</li> <li>樋口頼一 様</li> <li>杉山泰規 様</li> <li>吉原孝子 様</li> <li>高橋明子 様</li> <li>小塚泰博 様</li> <li>星弘道 様</li> <li>西永義久 様</li> <li>田浦富己 様</li> <li>山中翠之 様</li> <li>荒木志雄 様</li> <li>関口大志 様</li> <li>柳村衛 様</li> <li>柳澤剛志 様</li> <li>小日向志乃 様</li> <li>松前達郎 様</li> <li>佐藤美子 様</li> <li>横田隆幸 様</li> <li>新保幸男 様</li> <li>中野俊介 様</li> <li>高橋重 様</li> <li>清田志郎 様</li> <li>佐野淑子 様</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>中村光宏 様</li> <li>菅野良子 様</li> <li>中島米治郎 様</li> <li>田中久丸 様</li> <li>神田靖男 様</li> <li>森本晃生 様</li> <li>石飛博光 様</li> <li>清原真里 様</li> <li>角田保行 様</li> <li>三浦益広 様</li> <li>金光真佐一 様</li> <li>田辺和子 様</li> <li>西野和良 様</li> <li>竹内明世 様</li> <li>平田泰之 様</li> <li>武井伸之 様</li> <li>羽石史生 様</li> <li>長谷正行 様</li> <li>長瀬孝一 様</li> <li>前田寿子 様</li> <li>笠原勲 様</li> <li>黒河英俊 様</li> <li>廣瀬敬章 様</li> <li>北田俊也 様</li> <li>高見康雄 様</li> <li>若本みち子 様</li> <li>堀川佳津美 様</li> <li>木本篤 様</li> <li>秋元幸雄 様</li> <li>中山安弘 様</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>鈴木健之 様</li> <li>木村則子 様</li> <li>水田涉子 様</li> <li>吉原剛一 様</li> <li>本吉文子 様</li> <li>吉田鏡子 様</li> <li>五嶋滋之 様</li> <li>世川統 様</li> <li>柴啓生 様</li> <li>若佐恵子 様</li> <li>山田裕子 様</li> <li>田中真知子 様</li> <li>高田明典 様</li> <li>根岸順様</li> <li>小野透 様</li> <li>竹中洋介 様</li> <li>藤原一 様</li> <li>田原喬子 様</li> <li>福井一夫 様</li> <li>石田勝重 様</li> <li>山神英司 様</li> <li>島谷佳子 様</li> <li>森本文子 様</li> <li>青木勝重 様</li> <li>牧裕子 様</li> <li>南佳菜子 様</li> <li>沖斗南 様</li> <li>北爪由紀夫 様</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>三浦好子 様</li> <li>近藤雅美 様</li> <li>桑田啓一 様</li> <li>箕田好文 様</li> <li>黒田耕治 様</li> <li>石堂三郎 様</li> <li>黒田耕治 様</li> <li>原田順一 様</li> <li>黒田伸彦 様</li> <li>菊本久子 様</li> <li>青木香織 様</li> <li>染谷克人 様</li> <li>伊藤翔司 様</li> <li>平井智春 様</li> <li>田中久仁恵 様</li> <li>飯修 様</li> <li>椎名功 様</li> <li>大内裕子 様</li> <li>小澤田真弓 様</li> <li>小松愛実 様</li> <li>米山眞満 様</li> <li>堀内洋志 様</li> <li>菅根史恵 様</li> <li>中村将也 様</li> <li>中村賢一 様</li> <li>浪崎俊充 様</li> <li>塩崎豊 様</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>茅野俊秋 様</li> <li>石井利行 様</li> <li>佐野謙三 様</li> <li>大久保一様</li> <li>森山節子 様</li> <li>野村和子 様</li> <li>榎原陽子 様</li> <li>石井利行 様</li> <li>古家惣一郎 様</li> <li>安諸茉莉子 様</li> <li>内田一博 様</li> <li>梓澤昂広 様</li> <li>長谷益男 様</li> <li>山上美幸 様</li> <li>林大和 様</li> <li>山崎成啓 様</li> <li>和田佳奈子 様</li> <li>荻野美穂 様</li> <li>長谷部理恵 様</li> <li>柴田俊之 様</li> <li>中村博志 様</li> <li>阿部隆夫 様</li> <li>宮崎文子 様</li> <li>麻生正信 様</li> <li>古瀬敏 様</li> <li>小川悠介 様</li> <li>井上靖代 様</li> <li>鈴木給美留 様</li> <li>高橋康之 様</li> <li>小山美知子 様</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>伊賀浩一 様</li> <li>藤谷康男 様</li> <li>若川幸子 様</li> <li>森山節子 様</li> <li>松浦芳香 様</li> <li>松浦芳香 様</li> <li>大西史子 様</li> <li>菅原史詠 様</li> <li>大浦喜成 様</li> <li>佐藤宣雄 様</li> <li>荒木駿 様</li> <li>青木茉莉花 様</li> <li>加治啓子 様</li> <li>鈴木智子 様</li> <li>猿橋正樹 様</li> <li>小林辰男 様</li> <li>大浦喜成 様</li> <li>佐藤宣雄 様</li> <li>菊地明子 様</li> <li>大内裕子 様</li> <li>近藤恵利加 様</li> <li>西村修一 様</li> <li>秋田光祥 様</li> <li>松本澄子 様</li> <li>杉本孝夫 様</li> <li>秋葉桂子 様</li> </ul> |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|





## 理想の図録

小学生のころ初めて読んだ展覧会図録は『縄文人展』。当時盛んだったデパートの展覧会で、本も小型で薄め。遮光器土偶や土器の形に心惹かれ、漢字の読みやことばの意味を調べながら読んだのを覚えています。現在当館では、年間約7冊もの図録を制作しています。そのすべての内容を、最低で5~6回読み通しますが、私には少し難しく感じるものもあります。いつか、飛び出す絵本や3D画像が見られるような、子どもにもわかりやすくして楽しい図録を作りたいと夢見しています。皆様の理想の図録もお聞かせいただけたら幸いです。



膨大な量の図録の校正紙とにらめっこする毎日です

(出版企画室長・松尾美貴)

### 特別展「国宝 東寺—空海と仏像曼荼羅」チケットプレゼント

特別展「国宝 東寺—空海と仏像曼荼羅」(2019年3月26日〈火〉~6月2日〈日〉→2ページ)無料観覧券(10組20名様)をプレゼントします。締切は2月12日(火)必着。

#### \*プレゼントの応募方法

はがきに郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、性別、年齢、ならびにこの号で一番おもしろかった記事をご記入のうえ、下記までお送りください。発表は発送をもって替えさせていただきます。

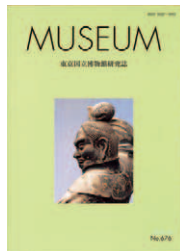
〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9

東京国立博物館 広報室「ニュース12-1月号」プレゼント係



### 『MUSEUM』676号(2018年10月15日発行)の掲載論文

- ①「明治時代の興福寺における仏像の移動と現所在地について —興福寺所蔵の古写真をもちいた史料学的研究—」  
山口隆介(奈良国立博物館学芸部主任研究員)  
宮崎幹子(奈良国立博物館学芸部資料室長)
  - ②「『資料紹介』愛媛・如法寺 木心乾漆造毘沙門天立像」  
岩田茂樹(奈良国立博物館学芸部上席研究員)
- お問合せ：当館ミュージアムショップまたは  
中央公論事業出版(TEL:03-5244-5723)  
定価：1,543円(税込)



### TNM & TOPPANミュージアムシアター

#### ■VR作品「風神雷神図のウラ —夏秋草図に秘めた想い—」 2019年1月2日(水)~3月24日(日)

自然に翻弄され、雨に濡れ風に揺れる繊細な草花。風の音すら聴こえるような一瞬を切り取った「夏秋草図屏風」を描いたのは、江戸時代後期に活躍した絵師、酒井抱一。抱一晩年の最高傑作である「夏秋草図屏風」は、実はある屏風の「ウラ」に描くよう依頼された作品であることをご存じでしょうか。その屏風とは、抱一が長年憧れを抱き、自らの絵画制作の師と仰いだ名匠の手によるものでした。抱一はどのような想いを込めて、その裏側に「夏秋草図屏風」を描いたのか。バーチャルリアリティならではの視点で、オモテとウラの関係性に隠された秘密を探ります。



料金：一般・大学生・高校生500円、小学生・中学生：300円、未就学児、障がい者とその介護者1名は無料(1作品/1回あたり)

- \*総合文化展とセット購入で一般：1,000円/大学生800円
- \*所要時間は約35分です。鑑賞には当日の予約が必要です。
- \*演目・スケジュールは都合により変更になる場合があります。
- \*詳細はウェブサイト(<http://www.toppan-vr.jp/mt/>)をご覧ください。

### 東京国立博物館利用案内

#### 開館時間:

9:30 ~ 17:00(入館は閉館の30分前まで)

- 金・土曜日は21:00まで
- いずれの場合も黒田記念館は17:00まで

#### 休館日:

月曜日(祝・休日に当たる場合は開館、翌平日休館)年未年始

(12月26日(水)~2019年1月1日(火・祝))

- 12月25日(火)、2019年3月25日(月)は開館

\*特別展等の開催に伴い、開館時間及び休館日は変更になることがあります。

- 12月10日(月)~22日(土)まで、本館1階ミュージアムショップは改修工事のためお休みします。

#### 総合文化展観覧料金:

一般=620(520)円 大学生=410(310)円

- ( )内は20名以上の団体料金
- 障がい者とその介護者1名は無料。満70歳以上、高校生以下および18歳未満の方は無料
- ト・ハ・ク感謝デー(12月23日(日・祝)~25日(火))は、総合文化展は観覧無料

最新情報は、  
ウェブサイト、Facebook、Twitter、  
Instagram、メールマガジンで!

東京国立博物館ウェブサイト  
<https://www.tnm.jp/>

### 東京国立博物館会員制度

東京国立博物館では、皆様のニーズに合わせて各種会員制度をご用意しております。

#### 友の会

発行日から1年間有効  
年会費 8,000円

【特典】東京・京都・奈良・九州の国立博物館の総合文化展・平常展を何度でも観覧可能。東京国立博物館の特別展観覧券を6枚配布、本誌の定期購読、ショップ、レストラン割引等様々な特典があります。

#### メンバーズプレミアムパス

発行日から1年間有効  
年会費 一般5,000円、学生3,500円

【特典】東京・京都・奈良・九州の国立博物館の総合文化展・平常展を何度でも観覧可能。東京国立博物館の特別展観覧券を4枚配布します。

#### 国立博物館メンバーズパス(4館共通)

発行日から1年間有効  
年会費 一般2,000円、学生1,000円

【特典】東京・京都・奈良・九州の国立博物館の総合文化展・平常展を何度でも観覧可能。

#### ニュース会員

東京国立博物館ニュースの定期購読  
年会費 1,000円(6冊分)

【特典】年6回東京国立博物館ニュースをご自宅に送付いたします。メンバーズプレミアムパスとの同時申し込みで100円割引。

\*次号よりご送付希望の場合、締切は2019年1月10日(木)です。

### ○申込方法

#### 1. 会員専用窓口

当館正門前の会員専用窓口で即日発行いたします(現金またはクレジットカード)。

#### 2. ウェブサイト

専用申込フォームからお申し込みください(クレジットカードまたは郵便振替(振替用紙を送付))。

#### 3. 郵便振替

- 振替用紙に①種別(友の会、プレミアムパス、4館共通、ニュース)、②区分(一般、学生)③氏名(ふりがな)、④郵便番号、⑤住所、⑥電話番号、⑦年齢、⑧性別、⑨メールアドレス(メールマガジン希望者のみ)を通信欄にご記入の上、下記口座までお振替ください。

加入者名:東京国立博物館会員制度

口座番号:00140-3-791791

- 振込用紙の半券が領収書になります。有効期限終了まで保管してください。
- 振替手数料はお客様負担となります。
- ご入金確認日より会員証等がお手元に届くまで2週間程度かかります。

\*一度収められた料金の払い戻しはいたしません。

\*各種イベントのお申込みに際してご提供いただいた個人情報、当該目的のみ使用させていただきます。当館は個人情報に関する法令を遵守し、適正な管理・利用と保障に万全を尽くします。

#### ◎お問合せ

電話 03-3822-1111(代) 総務課会員制度担当

\*月曜~金曜日の9:30~17:00(土日・祝休日は除く)

FAX 03-3821-9680



東京国立博物館ニューズ 第752号 平成30年12月1日発行(隔月1回 偶数月発行) 編集/東京国立博物館 広報室 ©東京国立博物館 発行/東京国立博物館 〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9 TEL:03-3822-1111(代表) \*ウェブサイトを(URL)https://www.tnm.jp/ 独立行政法人国立文化財機構ウェブサイト(URL)http://www.nich.go.jp/ 制作/凸版印刷株式会社

Table with 2 columns: Date (1-31) and Exhibition/Event details. Includes dates like 1土, 2日, 3月, 4火, 5水, 6木, 7金, 8土, 9日, 10月, 11火, 12水, 13木, 14金, 15土, 16日, 17月, 18火, 19水, 20木, 21金, 22土, 23日, 24月, 25火, 26水, 27木, 28金, 29土, 30日, 31月.

Table with 2 columns: Date (1-31) and Exhibition/Event details. Includes dates like 1火, 2水, 3木, 4金, 5土, 6日, 7月, 8火, 9水, 10木, 11金, 12土, 13日, 14月, 15火, 16水, 17木, 18金, 19土, 20日, 21月, 22火, 23水, 24木, 25金, 26土, 27日, 28月, 29火, 30水, 31木.

【顔真卿】=特別展「顔真卿 王羲之を超えた名筆」関連事業。申込は締め切りました \*1=有料イベント。詳細は当館ウェブサイト \*2=詳細は14ページ \*3=「博物館に初もうで」関連イベント(→4ページ) \*4=事前申込制。詳細は14ページ \*5=有料イベント。詳細は14ページ

- 法 = ボランティアによる法隆寺宝物館ガイド、集合:法隆寺宝物館1階エントランス
茶 = ボランティアによる応挙館での茶会、集合:本館1階エントランス
庭 = ボランティアによる庭園茶室ツアー、集合:本館1階エントランス
英 = ボランティアによる英語ガイド(日本美術の流れ)、集合:本館1階エントランス
建 = ボランティアによるたてももの散歩ツアー、集合:本館1階エントランス
近 = ボランティアによる近代美術ガイド、集合:本館1階エントランス
刃 = ボランティアによる刀剣・武士の装いツアー、集合:本館1階エントランス
東 = ボランティアによる東洋館ツアー、集合場所:東洋館1階エントランス(12月のボランティアデーは「世界遺産の旅」、それ以外は「仏像の旅」、1月は「東洋館ハイライト」をご案内します)
藝 = 藝大大学院インターンによるギャラリートーク(詳細は本誌12ページ)
※屋外で実施するツアー・ガイドは雨天の場合中止することがあります